

対象区域の将来像の検討について

1. 現況を踏まえた対象区域の特性と課題

【特性】

- ・武豊町の中心市街地として発展してきた歴史を有している
- ・特急停車駅である名鉄知多武豊駅を中心に鉄道の利便性が高い
- ・高校生の駅利用者が多い傾向にある
- ・南北に幹線道路（知多東部線）が整備され、半田市等の名古屋方面への交通利便性が高い
- ・みゆき通りの商店街においてみゆき通り発展会が組織されている

【課題】

- ・人口及び世帯数が横ばいで推移しており停滞している状況にある
- ・近年、目立った建築が見られず区域内において建物の更新が進んでいない
- ・区域内に整備された公共施設が今後、同時に老朽化していくことが懸念される
- ・駅周辺において空き地や青空駐車場が多く、有効な土地利用が進んでいない
- ・名鉄知多武豊駅西口では駅前広場が整備されておらず、さらに一方通行等により車のアクセスがわかりにくい状況にある
- ・対象区域の東西軸となる都市計画道路（武豊港線）が一部区間で未整備となっている
- ・朝夕のピークの時間帯に駅へのアクセス経路で交通量が多く、渋滞が発生している
- ・東部では洪水や高潮等による浸水が懸念される

2. 対象区域に対する住民ニーズ（アンケート結果）

【地域住民】

- ・商業施設の充実、道路整備、地域としての個性の創出等が求められる
- ・将来のまちづくりについて、日用品の買物や飲食が便利にできる身近な商業機能、医療機能の充実が求められる
- ・武豊中央公園周辺のまちづくりについて、広場（公園）の多目的利用や緑を感じられることが求められる
- ・居住環境について、道路及び歩道の整備、防災対策、商業機能の充実が求められる

【駅利用者】

- ・駅周辺のまちづくりについて、日用品の買物や飲食が便利にできる身近な商業機能の充実が求められる
- ・駅周辺の交通状況について、道路、駅前ロータリー及び歩道の整備が求められる

【公園利用者】

- ・武豊中央公園に対してスポーツや遊び場の確保に加えて飲食ができるスペースの確保が求められる
- ・武豊中央公園周辺のまちづくりについて、公園の多目的な利用や町民交流の場づくりが求められる
- ・駅周辺の目指す町のイメージについて、飲食店の充実、散策が楽しめるまちづくり、子育て支援関連施設の充実が求められる

【町民意識調査】

- ・名鉄知多武豊駅・JR武豊駅周辺のまちづくりについて、駐輪場、駐車場の充実が求められる

3. 近年のまちづくり動向 【まちづくりに求められること】

- ・コンパクト・プラス・ネットワーク*における都市機能や居住機能が整った「コンパクトなまちづくり」
- ・多様な人々の出会い・交流を通じたイノベーション*の創出や人中心の豊かな生活を実現する「居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成」
- ・ビジョンづくり・計画策定・整備・維持管理に至る一連のプロセスを「多様な主体と連携して進める」まちづくり
- ・「地域特性等に応じたカーボンニュートラルの実現」に向けた取組

4. 対象区域における

課題の整理

【課題認識】

- （1）駅前にふさわしいにぎわい創出と生活利便性の向上
- （2）自動車交通の利便性向上に向けた名鉄知多武豊駅西側の交通基盤の改善
- （3）多様な世代の定住促進
- （4）老朽化が同時に進行する公共施設の適切な更新・再配置
- （5）点在する低未利用地及び空き地の有効活用や古い建物の更新
- （6）既存ストックを活かした緑豊かで個性のある市街地の形成
- （7）懸念される災害への対応等

5. 対象区域の将来像（目標）

例)

- ・武豊らしい駅前ってどんなイメージ？
- ・対象区域の個性ってなに？
- ・対象区域でどんな暮らしができるといい？
- ・多くの人が集まり、留まるにはどんなまちになるといい？

SUSTAINABLE(持続可能な)
MOBILITY(動きやすい)
INFRASTRUCTURE(社会基盤)
LIFE STYLE(生活様式)
EMPOWERMENT((地域の)自立した活動)

【前回策定委員会の中での主な意見】

- ・人が多いとそれだけで楽しいので、人の多いまちになるとよい
- ・地域の人が簡単に立ち寄れるような店が増えると、人が集まりたくなるまちになる
- ・駅やその周辺で時間がつぶせることが多いまちづくり
- ・「なぜわざわざ武豊に住むのか」を考慮して武豊らしい駅前をつくる
- ・駅の西側と東側のそれぞれの特徴を生かしたまちづくり
- ・どう関わるか、どのような仕組みで進めるか、人の動きや気持ちを合わせて考えていくことが必要
- ・「ゼロカーボンシティ」に向けたモデル的なまちになるとよい

【後日提出された委員アイデア】

委員アイデア（概要）

- ・町の未来を先導する地区
- 新しい暮らし方が実現できる場(ゆとりある生活を実現/緑を実感/歩いて楽しくなる街路空間/ DX*社会に対応/住民のまちづくり参画)
- インキュベーション*機能の整備(共同ミニオフィス機能/自然の豊かさを利点としたインキュベーション機能)
- 多様な交流が生み出される機能と空間整備(複合型の公共施設の整備/少しまとまった公開空地*/シティホールとしての役場の整備)
- ゼロカーボンシティを先導する街区へ(スマート街区/新しいモビリティの導入/自動車のEV化に対応)
- ゲート性を持たせた駅前整備(武豊町を実感できるゲート性/まとまった緑のシンボリックな空間整備)

委員アイデア（概要）

- ・気軽に起業にチャレンジできる場の提供
- ・どの世代もくつろげるスペース
- ・キッチンカーの出店
- ・くつろぐことができ、子どもが遊べる空間の確保

委員アイデア（概要）

- ・低未利用地等を活用して、アウトドア施設や農業体験地等をつくる/移動キッチンカーの販売場所にする/体操を行う場所にする/スポーツのグラウンドをつくる/空き物件をテレワークスペースに活用する/空き家バンクを周知する
- ・多様な世代の定住促進のため、町の中央部に子どもが室内で遊べる場所をつくる/パンフレット等で住みやすさをPRする/若者層に向けてSNS等でPRする/子育てしやすい町や子どもが安全に過ごせるための取組

委員アイデア（概要）

- ・気軽に集まってにぎわいを作る町民参加型のクリエイティブスペース（駅前イメージ）
- ・東西を結ぶ3本の路線を整備し、充実した南北の道路網と接続（東西の流れの活性化）
- ・スピード抑制し事故を防ぐちょっと一工夫（中央公園付近の交通安全）
- ・JR、名鉄両駅と公共施設エリアの「にぎわい」を結ぶEV自動運転バスのピストン輸送（駅西エリアの移動手段）
- ・駐車場の集約、歩道・アーケード整備で今より人の集うウォーカブルな商店街に（みゆき通りの活性化と交通円滑化）
- ・アサリ池周辺を「文教エリア」として別途整備（武豊文教エリアの整備）

目指す将来像（目標）

課題の整理

1 洪水について

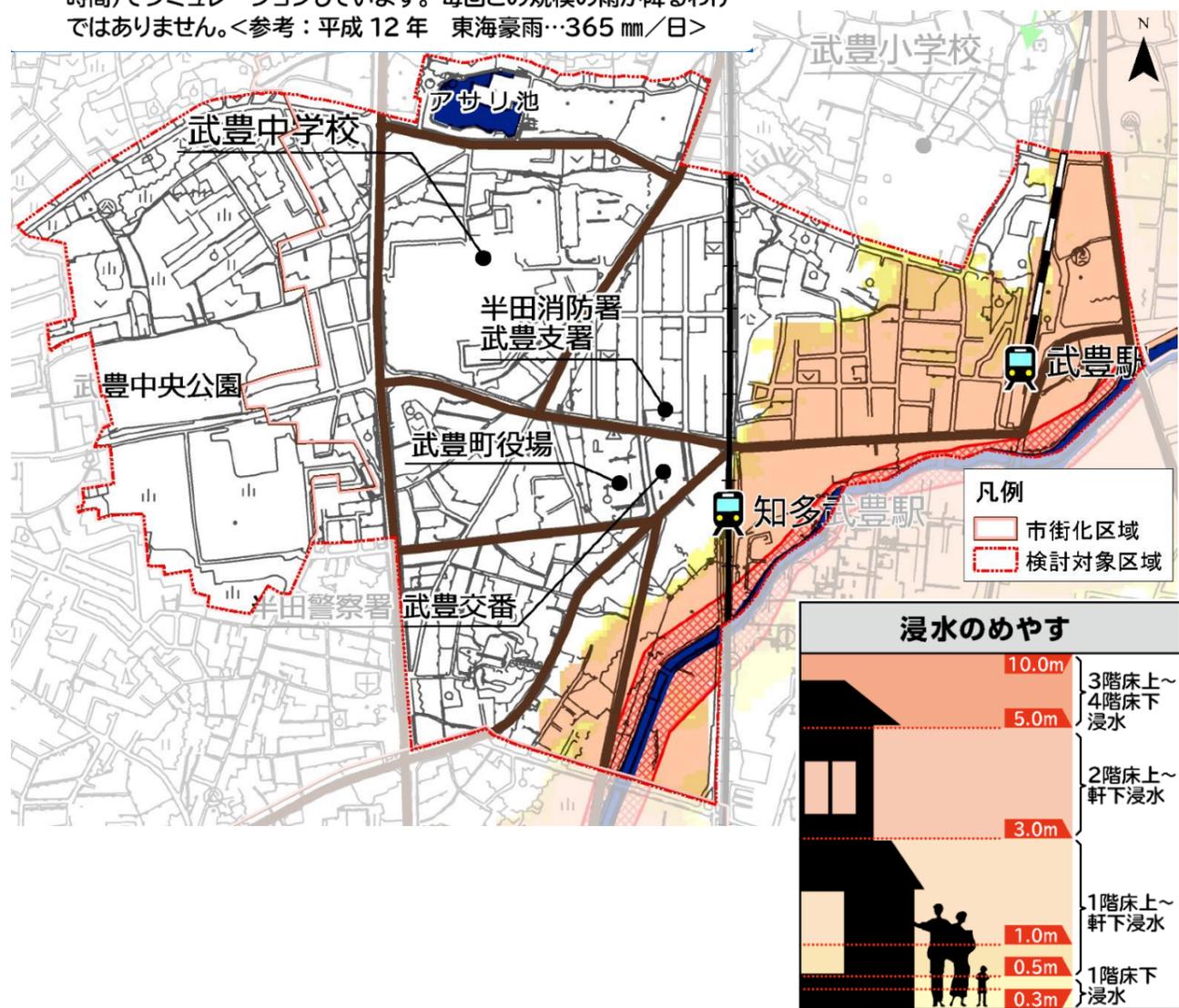
●対象区域の南部から東部へ流れる堀川沿いの地域で洪水による浸水が想定されている一方、西に行くほど標高が高くなる西部では想定されていません。

理論上想定される最大の降雨により、南部から東部に流れる堀川沿いの地域で浸水が想定されています。一方、西部に行くほど標高が高くなる名鉄河和線の西側は、浸水は想定されていません。

図 洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップについて

注)このハザードマップは、理論上想定される最大の降雨(836mm/24時間)でシミュレーションしています。毎回この規模の雨が降るわけではありません。<参考：平成12年 東海豪雨…365mm/日>



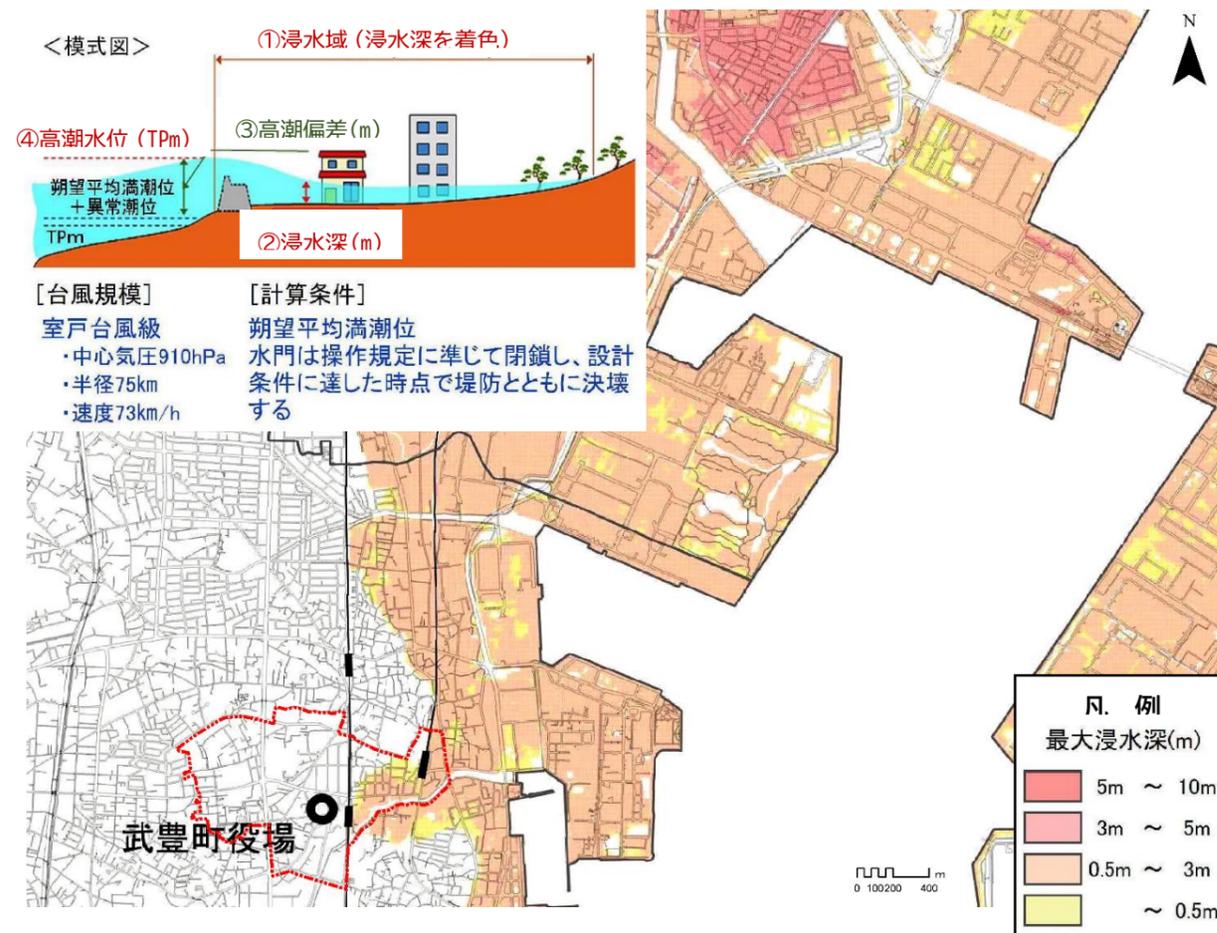
(資料:水害ハザードマップ(2021(令和3)年3月作成)を編集)

2 高潮について

●対象区域の南部から東部へ流れる堀川沿いの地域で高潮による浸水が想定されている一方、西に行くほど標高が高くなる西部では想定されていません。

室戸台風級*の低気圧による台風により、本区域南部から東部に流れる堀川沿いの地域で浸水が想定されています。一方、西部に行くほど標高が高くなる名鉄河和線の西側は、浸水は想定されていません。

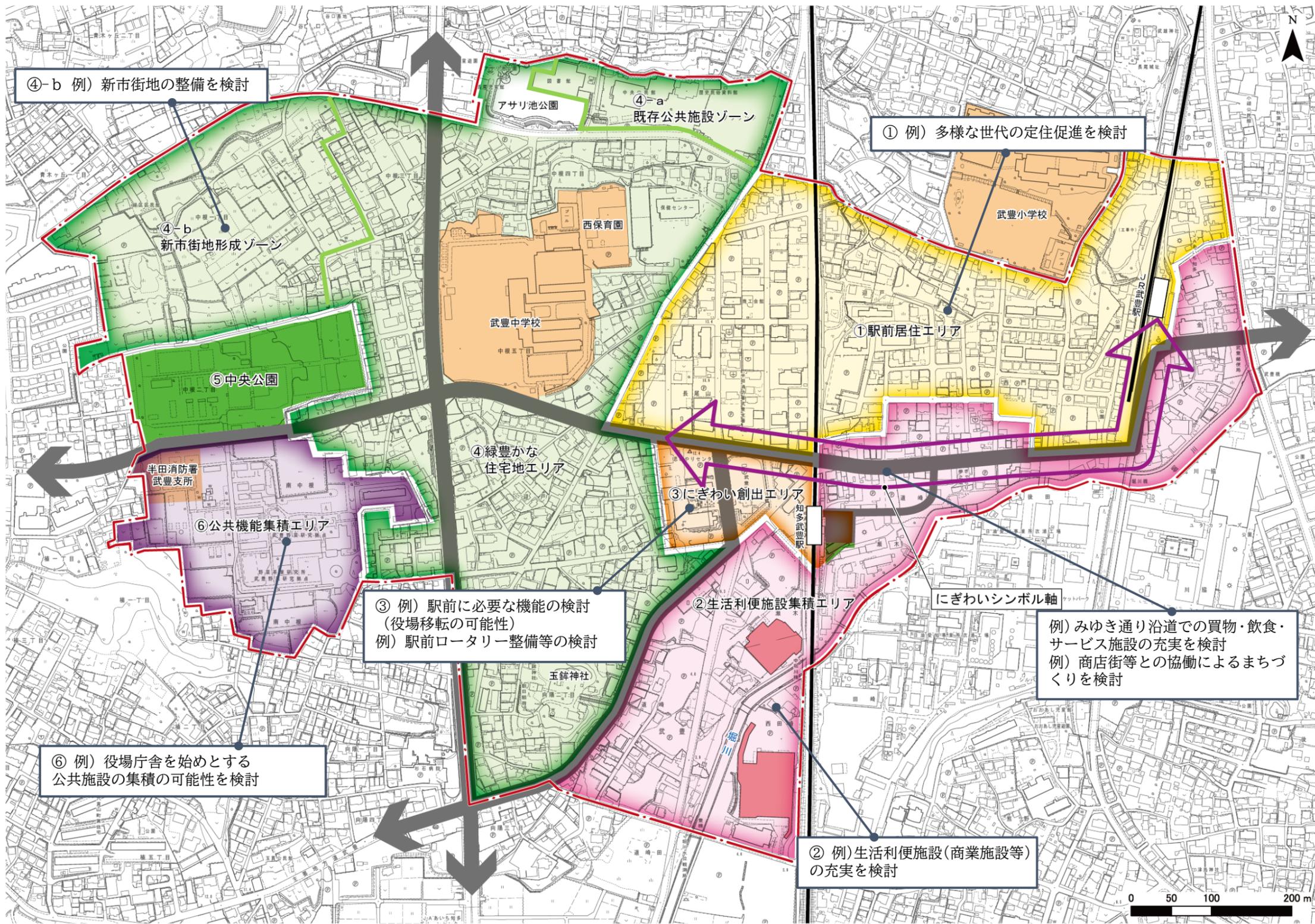
図 高潮浸水想定区域



(資料:愛知県高潮浸水想定区域(2021(令和3)年6月11日(愛知県告示第280号))を編集)

* 室戸台風級：日本に上陸した既往最大台風の気圧規模です。

土地利用図(案)



- 
①駅前居住エリア
 若者から高齢者まで多様な世代の居住ニーズに対応した戸建住宅・共同住宅等が立地するまちなか住宅地エリア
- 
②生活利便施設集積エリア
 既存施設を含め、生活利便施設が充実し、地域住民のみならず全ての町民の便利で快適な暮らしを支えるエリア
- 
③にぎわい創出エリア
 町内外から多くの人が集い、多様な交流・ふれあいが生まれ、町の玄関口にふさわしいにぎわいあふれるエリア
- 
④緑豊かな住宅地エリア
 ・既存公共施設ゾーン
 ・新市街地形成ゾーン
 緑豊かで環境にも配慮した戸建住宅等が主に立地するエコ住宅地エリア
- 
⑤中央公園
 多くの町民が集うことができるとともに防災機能を備えた公共交流拠点の核となる公園
- 
⑥公共機能集積エリア
 環境に配慮した公共施設(役場庁舎等)が集積し、様々な目的の町民が集い、町民同士の豊かな交流が育まれるエリアであり、町全体の低炭素化をリードする先導的エリア
- 
にぎわいシンボル軸
 沿道に買物・飲食・サービス施設が充実し、歩行者がくつろぎ・憩うことができる空間が確保されるとともに、まちの玄関口である名鉄知多武豊駅及びJR武豊駅へつながるシンボリックな都市景観が形成された、歩くことが楽しくなるエリア
 (ウォーカブルなまちづくりの推進)

④-b 例) 新市街地の整備を検討

④-a 既存公共施設ゾーン

① 例) 多様な世代の定住促進を検討

④-b 新市街地形成ゾーン

⑤中央公園

④緑豊かな住宅地エリア

①駅前居住エリア

⑥公共機能集積エリア

③にぎわい創出エリア

③ 例) 駅前に必要な機能の検討
(役場移転の可能性)
例) 駅前ロータリー整備等の検討

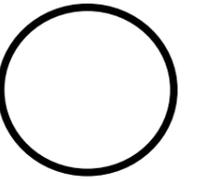
②生活利便施設集積エリア

にぎわいシンボル軸

例) みゆき通り沿道での買物・飲食・サービス施設の充実を検討
例) 商店街等との協働によるまちづくりを検討

⑥ 例) 役場庁舎を始めとする公共施設の集積の可能性を検討

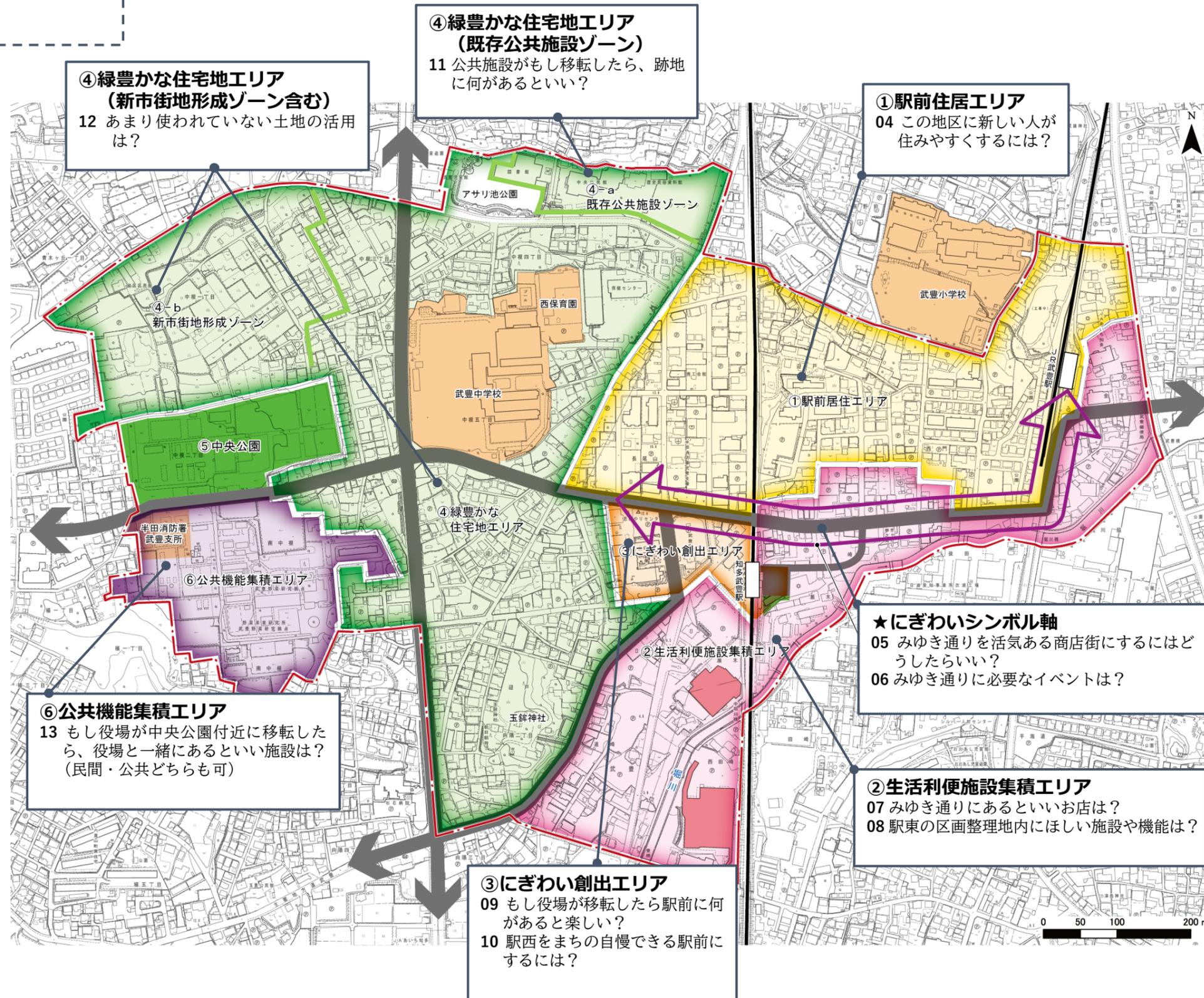
② 例) 生活利便施設(商業施設等)の充実を検討



駅西グランドデザインWS「ビジョンを描こう！」

★検討地区全体

- 01 歩きたくなるまちになるには何がほしい？
- 02 武豊は「エコの町の見本だね」といわれるには？
- 03 名鉄知多武豊駅から中央公園までどうやって移動する？



【付箋の色】 ハード系はブルー■、ソフト系はピンク■、その他はイエロー■、他市町の事例等も大歓迎